

# 靈寶殿

池上本門寺の  
御靈宝と文化遺産



目次・例言

1 池上本門寺の歴史と御霊宝	1	7 兜木コレクション	37
2 日蓮聖人の御真蹟	2	8 新収蔵品	41
大曼荼羅本尊 2 / 兄弟抄 4 / 兵衛志殿御書・報恩抄 13		コラム 石造物 25 / 霊宝箱 31 / 絵画・古文書 35 / 書跡 43	
妙法尼御前御返事 14 / 善無畏抄・下山抄 16 / 弁殿御消息・富木尼御前御返事・撰時抄 17		／昭和 20 年 4 月 15 日 44	
3 日蓮聖人御入滅	18		
4 日蓮聖人の御持物	20	例言	
5 歴代聖人の御本尊	21	・ 本書は池上本門寺霊宝殿の収蔵品ならびに山内に所在する文化遺産の解説図録である。	
6 伽藍と外護者	26	・ 本書の編集は本間岳人（霊宝殿学芸員）が行い、安藤昌就（霊宝殿主事）・山田泰弘（霊宝殿学芸員）・本間が分担執筆した。	
旧伽藍 26 / 徳川将軍家と五重塔 28 / 養珠院お万の方と紀州徳川家 29 / 加藤清正とその一族・肥後細川家 30 / 寿福院と加賀前田家 31 / 本阿弥光悦と総門扁額・経蔵と一切経 32 / 講中と宝塔 33 / 江戸幕府奥絵師狩野家 34 / 川端龍子絶筆「未完の龍」と牧進「煌櫻」・円錐勝三謹刻「昭和の仁王様」 36		・ 文化財指定は、本文中には国・東京都指定のみ表記し、区指定は、巻末所収の指定文化財一覧に表記した。	

本門寺史略年譜

※紙面の都合上、歴代聖人の尊称は省略し、( ) 内に世代を示した。

年号	西暦	歴代	出来事	関連ページ		
鎌倉	文永 12 年	1275	日蓮聖人、池上宗仲兄弟へ御書（「兄弟抄」）を認める。	4		
・	弘安 4 年	1281	日蓮聖人、藤原日生（池上氏一族か）へ本尊を授与する。	2		
・	弘安 5 年	1282	日蓮（1）日蓮聖人、池上宗仲郎において御入滅。この頃、本門寺が開創される。	18		
・	・	・	第 2 祖日朗聖人、比企谷妙本寺・池上本門寺の貫首を兼任し、両山一首とする。			
・	正応元年	1288	日朗（2）日持・日浄聖人によって日蓮聖人坐像（大堂奉安）が造立される。	1		
・	正応 3 年	1290	日朗（2）現存最古の題目板碑（大坊本行寺蔵）が造立される。	25		
・	南北朝	元弘 3 年	1333	日輪（3）鎌倉幕府滅亡		
・	・	貞治 5 年	1366	日山（4）釈迦堂の一尊四土像が修理される。		
・	・	応安 8 年	1375	日山（4）池上氏が禪宗に退転。当山を鎌倉寿福寺の末寺とする計画があるが、第 4 世日山聖人が阻止。		
・	・	室町	明德 3 年	1392	日叡（5）南北朝の合一	
・	・	・	応永 23 年	1416	日行（6）上杉禪秀の乱おこる、以後享徳の乱など関東動乱が続く	
・	・	・	応仁 2 年	1468	日調（8）このころ日朗聖人供養塔が造立される。	25
・	・	・	天文 17 年	1548	日純（9）上田朝直、山門（仁王門）を寄進建立。	26
・	・	・	天正元年	1573	日惺（12）織田信長、足利義満を追放	
・	・	・	天正 18 年	1590	日惺（12）小田原北条氏滅亡し、徳川家康江戸へ入府。この後 12 世日惺聖人、比企谷から池上へ移住し、以後貫首は池上に常住する。	
・	・	・	文禄 5 年	1596	日惺（12）客殿、真骨堂建立。	
・	・	・	慶長 3 年	1598	日惺（12）徳川家康より朱印地 100 石を賜る。	
・	江戸	・	慶長 5 年	1600	日尊（13）徳川家康、関ヶ原の戦いに勝利。慶長 8 年に江戸幕府を開く	
・	・	・	慶長 13 年	1608	日詔（14）徳川秀忠、五重塔を寄進建立。山門（仁王門）建立か？	28
・	・	・	慶長年間	・	加藤清正、祖師堂（大堂）、石段（此経難持坂）寄進。	30
・	・	・	寛永 4 年	1627	日樹（※）本阿弥光悦、三堂扁額を寄進。（※）復歴 16 世	32
・	・	・	寛永 7 年	1630	日樹（※）身池対論の結果、日樹聖人は除歴のうえ信州伊奈へ流罪となり、幕命により日蓮聖人が晋山する。	
・	・	・	寛永 8 年	1631	日遠（16）このころ、養珠院お万の方、杉苗 1 万本寄進および御霊宝を補修する。	29
・	・	・	正保 4 年	1647	日東（17）紀州頼宣室瑤林院、梵鐘を寄進。	
・	・	・	延宝 2 年	1674	日玄（22）狩野探幽没、当山へ葬送。	34
・	・	・	元禄 2 年	1689	日玄（22）南谷檀林開設。	
・	・	・	元禄 16 年	1703	日玄（22）五重塔移築修理。	
・	・	・	元禄年間	・	日玄（22）総門、常唱堂建立。	32
・	・	・	宝永 7 年	1710	日潤（23）伽藍の大半を焼失。徳川吉宗正室・寛徳院逝去、当山へ葬送。	
・	・	・	正徳 2 年	1712	日潤（23）客殿、方丈、庫裡を再建。	
・	・	・	正徳 3 年	1713	日潤（23）9 代将軍家重生母深徳院逝去、当山へ葬送。	
・	・	・	正徳 4 年	1714	日潤（23）紀州徳川家簾中の資助により梵鐘を改鋳。	29
・	・	・	享保元年	1716	日等（24）徳川吉宗、8 代将軍に就任	
・	・	・	享保 2 年	1717	日等（24）水戸綱條の資助により経蔵等を建立。	
・	・	・	享保 8 年	1723	日等（24）大堂（祖師堂）再建。	
・	・	・	享保 10 年	1725	日等（24）当山貫首へ永代紫衣を賜る。	
・	・	・	享保 15 年	1730	日類（25）釈迦堂再建。	
・	・	・	延享 3 年	1746	日芳（26）門前に下馬札を許される。9 代将軍家重、深徳院廟所に参詣。	
・	・	・	天明 4 年	1784	日謙（33）経蔵再建。	32
・	・	・	文政 8 年	1825	日教（47）宝蔵、本院修理。以後、天保 2 年まで諸堂の修理を行う。	
・	・	・	文政 11 年	1828	日教（47）芝口講中が本願主となり、日蓮聖人御荼毘所に宝塔建立。	33
・	・	・	天保 2 年	1831	日教（47）日蓮聖人 550 遠忌	
・	・	・	天保 12 年	1841	日暲（49）幕命により廢寺となった雑司ヶ谷感応寺より鼓樓を移築。	26
・	近代	・	慶応 3 年	1867	日蓮（60）15 代将軍徳川慶喜、大政奉還（明治維新）	
・	・	・	慶応 4 年	1868	日蓮（60）新政府軍、江戸攻略にあたり本門寺に本陣を設ける。当山にて西郷隆盛と勝海舟が会見したと伝える。	43
・	・	・	明治 7 年	1974	日蓮（60）身延山 73 世新居日蓮聖人（後、当山 65 世）、日蓮宗一致派初代管長に就任。	
・	・	・	昭和 6 年	1931	日慎（74）日蓮聖人 650 遠忌	
・	・	・	昭和 16 年	1941	日慎（74）両山一首制を廃す。	太平洋戦争開戦（～昭和 20 年）
・	現代	・	昭和 20 年	1945	日光（75）空襲により、五重塔・総門・経蔵・宝塔を除く伽藍と、寺宝のほとんどを焼失。	45
・	・	・	昭和 39 年	1964	日定（79）祖師堂（大堂）再建。	36
・	・	・	昭和 44 年	1969	日威（80）本殿（釈迦堂）再建、朗峰会館建設。	36
・	・	・	昭和 52 年	1977	日威（80）山門（仁王門）再建。	36
・	・	・	昭和 53 年	1978	日威（80）本院（客殿、方丈、庫裡相当施設）建立。	
・	・	・	昭和 54 年	1979	日威（80）日蓮聖人御廟所再建。	
・	・	・	平成 3 年	1991	日淳（81）朗子会館建設。松清園復興整備。	
・	・	・	平成 9 年	1997	日淳（81）五重塔解体修理（～平成 14 年）	28
・	・	・	平成 15 年	2003	日慈（82）霊宝殿開館。	